

ゆのはな

すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現
～Be true to Rehabilitation～

新理事長 就任のごあいさつ

厳しい残暑も過ぎ、実りの秋、読書の秋、芸術の秋を迎えています。皆様におかれましては、日頃より当センターの運営に対し、ご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

理事長

大塚 義巳



私はこの6月に役員交代で理事長に就任させていただきました。前任者と同様、皆様のお役に立てることは何かを職員とともに考えながら務めてまいり所存です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、秋を感じさせるものといえば、さまざまありますが、「千早ぶる 神代もきかず 龍田川からくれなゐに 水くくるとは」という秋を強く感じさせる有名な和歌があります。

これは、在原業平が詠んだとされ古今集に収録されており、百人一首にも選出されています。アニメや映画でも取り上げられましたのでご存知の方も多いのではないのでしょうか。落語がお好きな方は、その演目でご存知かもしれません。この和歌の意味するところは、「はるか昔、神代の世であっても、こんなことは聞いたことはありません。水面に一面の紅葉が浮かび、龍田川を鮮やかな紅色に絞り染めるなどとは」というものです。とても色鮮やかで秋の景色が見えるようです。

秋に限らず、四季のある日本では季節ごとの素晴らしい風景が数多くあります。

今、回復期リハビリテーション病棟に入院されて、365日リハビリテーションに取り組まれている皆様には、一日でも早く回復され、ご自身でこのような素晴らしい景色、季節の移り変わりを感じていただきたいと願っております。別府リハビリテーションセンターの基本理念は、「すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現」です。

私たち役職員は、そのお手伝いのために、いつも笑顔で頑張っております。

みょうばんクリニックふれあい祭り

きて！
みて！
あてよう！

開催日：平成29年11月26日（日）

時 間：10:00～14:00

会 場：みょうばんクリニック

（大分県別府市明礬5-2）



今年も地域の皆様との交流を深めることを目的に、

「みょうばんクリニックふれあい祭り」

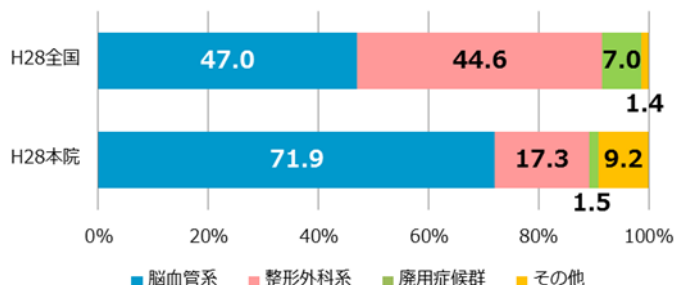
を開催します。模擬店やアトラクション、ガラポン抽選会等たのしいイベントを多数ご用意しています。

みなさまお誘いあわせの上、お気軽にご来場下さい。

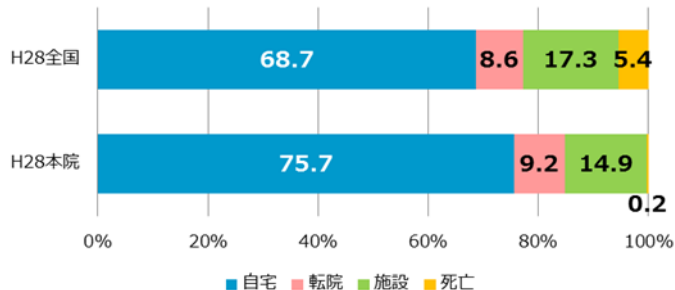
※ 当日、当センター駐車場⇄「みょうばんクリニック」間で無料シャトルバスを運行します。ぜひご利用ください。

回復期リハビリテーション病棟に関する実績と全国比較

原因疾患割合

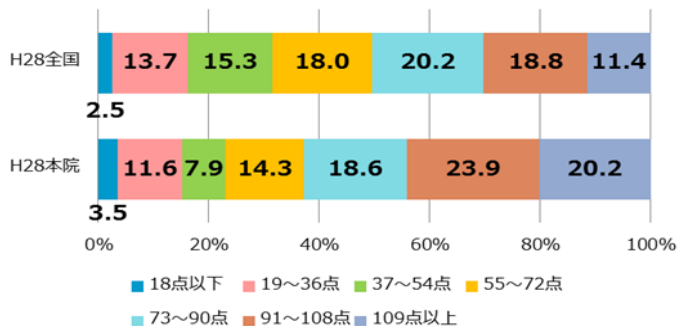


退院経路

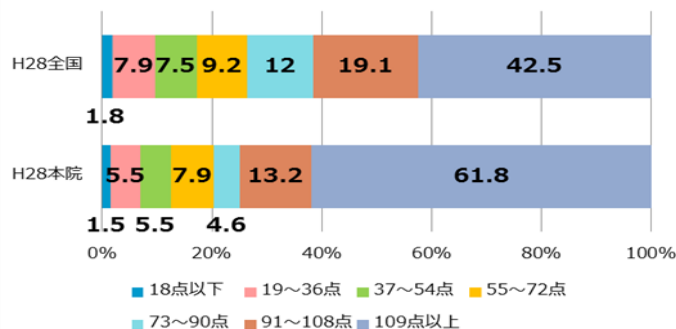


F I M（機能的自立度評価）

入院時



退院時



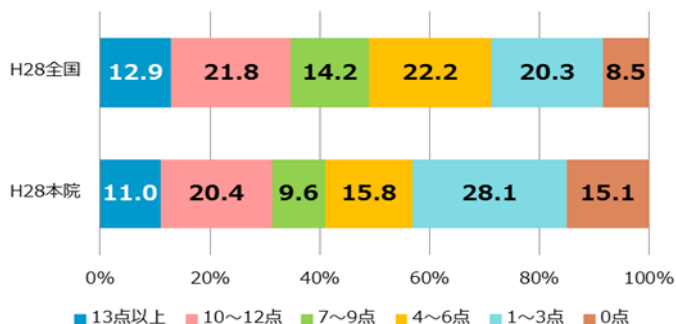
機能的自立度評価（F I M；Functional Independence Measure）とは

この評価は、主に介護量を測定するもので食事や整容などの「運動ADL」13項目と、社会的交流や記憶などの「認知ADL」5項目を、介護量に応じて7段階、126点満点で評価します。米国での研究において信頼性と妥当性が検証されており、我が国でも医療や介護の分野などで幅広く活用されています。

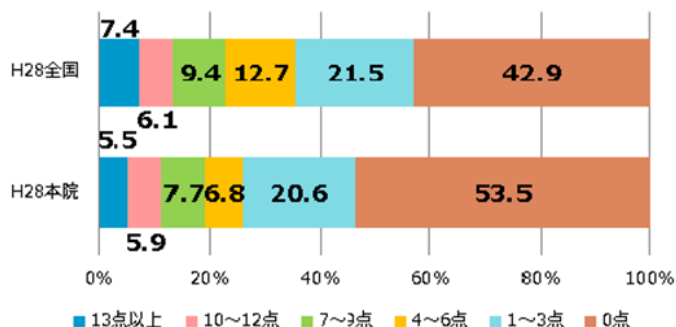
*ADL（日常生活動作：activities of daily living）/食事・更衣・移動・排泄・整容・入浴など生活を営む上で不可欠な基本的行動のこと。

日常生活機能評価

入院時



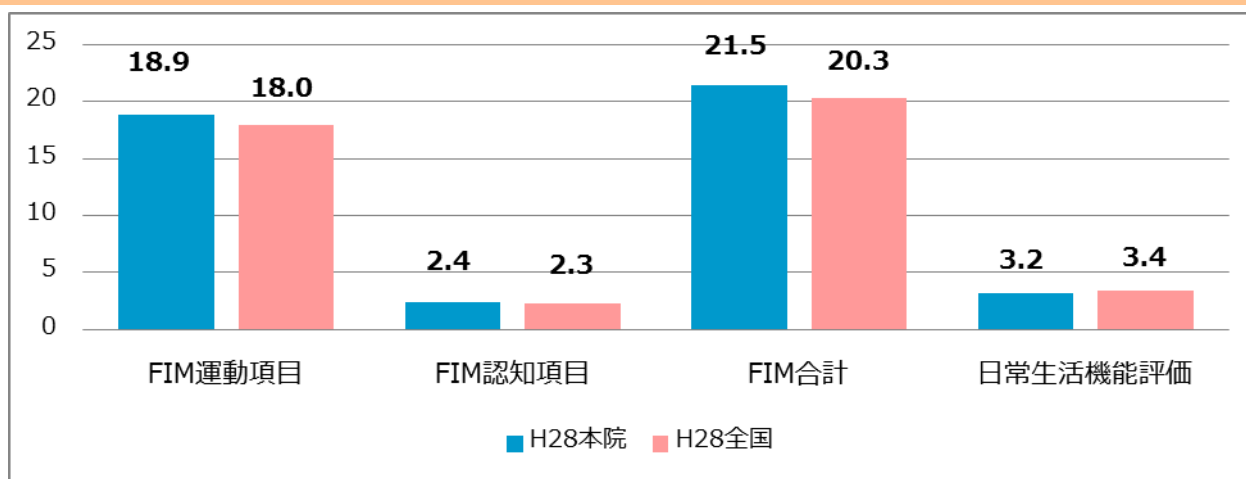
退院時



日常生活機能評価とは

この評価方法は、入院患者の日常生活自立度を測定するもので、起き上がりや移乗・食事摂取などの13項目を「できる」・「できない」・「一部介助があればできる」などの状況で評価し点数をつけます。合計点数の最大値は19点で、点数が低いほうが「自立度が高い」と評価されます。

ADL（日常生活動作）利得の平均値



まとめ

- ◆ 平成28年度は、FIMや日常生活機能評価、自宅復帰率において全国平均よりも良好な成績となりました。
- ◆ 今後も専門職が連携を深め、よい結果を残せるよう精進いたします。

自宅でもできる！
かんたんエクササイズ

第2回

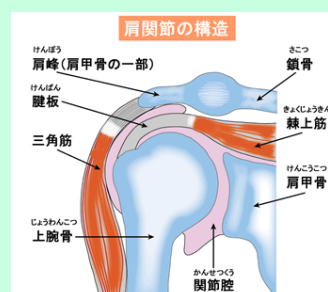
理学療法士 きよなりしょうご
清成省吾



四十肩・五十肩を予防しよう！

「四十肩・五十肩」は、皆さん一度は聞いたことがあると思います。一般的には「肩関節周囲炎」という疾患の一つで、「腱板」と呼ばれる肩を支える筋肉や関節に炎症が起きることで、肩の痛みや腕が挙がらないといった症状が現れてきます。40歳代から発症することが多いため「老化」が原因と考えられています。

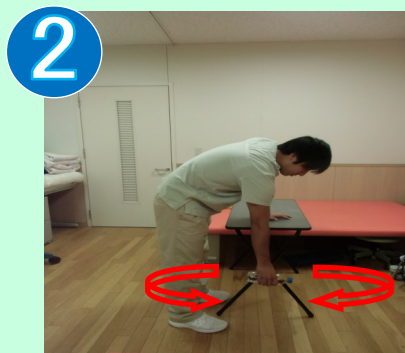
肩の動きが円滑に行えなくなると痛みが発生し、徐々に肩を動かすことが困難になっていきます。そのため「夜に痛んで眠れない」、「衣服の着脱が出来ない」など、日常生活に大きな支障が出てきます。肩関節は年齢とともに可動域が狭くなっていきますが、この「四十肩・五十肩」は予防できる病気とされています。



そこで今回、その予防に有効とされている、自宅でも出来るかんたんストレッチを3つご紹介します。



両手を腰に当て、左右の肩甲骨を背骨に寄せるように肘を後ろに引く。



水の入ったペットボトルを持ち、腕全体で円を描くように回す。



タオルの両端を持ち、上にあげ、左右にゆっくりと動かす。

※ 各運動を10回ずつ行い1セットとし、それを一日の中で3セット程行うことが望ましいです（例：朝・昼・晩など）

※ 痛みや炎症が既にある場合やストレッチ中に痛みや異変を感じた場合は、すぐに医師（専門医）の診断を受けましょう。

H29年度 第1回

入院生活に関する アンケート調査

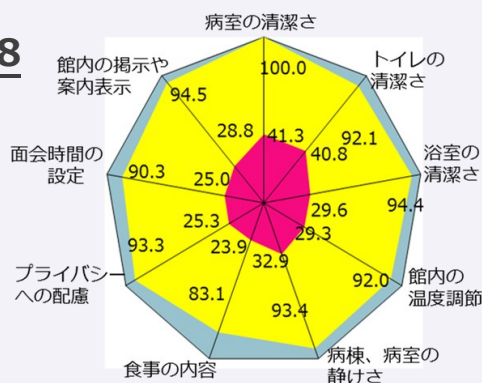
患者さん・ご家族にご協力いただき、第1回目の調査を6月に行いました。その主な結果を図にまとめ、前年度の結果と比較してご報告いたします。

< 入院生活について >

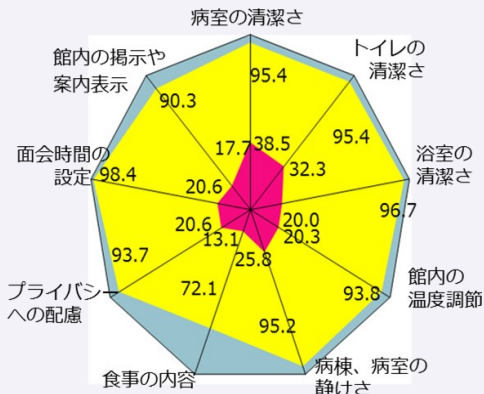
「食事内容」を除き「満足」の割合が多くなっています。
食事内容については、味付けや献立・量に対するご意見をいただきました。

大いに満足 満足 不満

H28



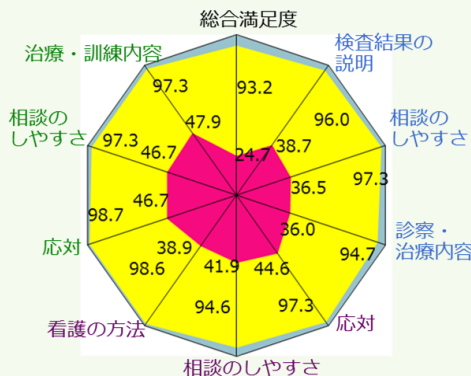
H29



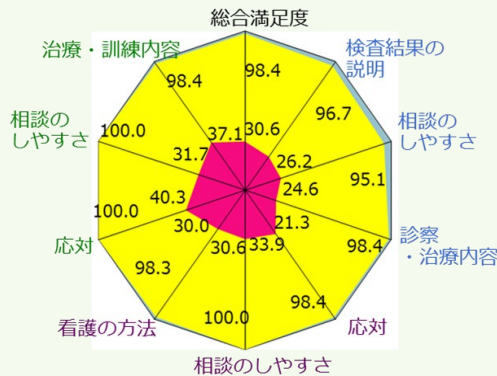
< スタッフのマナー・対応について >

「満足」の割合は全体的に多くなっています。訓練内容や職員の対応に対して良い評価をいただいておりますが、前年度と同様に言葉づかいに関することやナースコール対応が遅いとのことご指摘がありました。

H28



H29



※評価対象職種
医師
看護師・
介護福祉士
療法士

今回の調査結果やご意見等は、院内で共有し改善に努めてまいります。
今後も患者さん・ご家族に満足していただける療養環境づくりに取り組んでいきたいと思ひます。
調査へのご協力、ありがとうございました。

(回復期リハビリテーション部 接遇アンケート係)

病棟では患者様に充実した余暇時間を過ごしていただけるために、
さまざまなレクリエーション企画を行っています。

A棟

昔のあそび会

壁画アート作成

B棟

7月の終わりに「みんなで昔懐かしい遊びを楽しもう！
昔の遊び会」を開催しました。

患者の皆様先生になってもらい、お手玉・けん玉・
竹とんぼ・紙風船・カルタ・おはじき・絵合わせ等の遊
びで、楽しみました。

「これは懐かしいわあ」「小さい頃しよ
たわ」といった喜びの声が聞かれ、笑顔の
絶えない時間となりました。



病棟では患者様に季節を感じていただけるよう、絵の具
や端切れ等を使って、月替わりで季節に合った作品を作成
し、食堂前にて掲示しています。

8月は折り紙で「花火」を表現し
ました。毎月、患者様とスタッフで
協力し、創意工夫をしながら作品制
作に取り組んでいます。



病棟にお越しの際はぜひご覧下さい！

発行： 社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター

日本医療機能評価機構認定 / 日本脳卒中学会認定研修教育病院 / 日本リハビリテーション医学会認定研修施設



〒874-8611 大分県別府市鶴見1026-10

TEL0977-67-1711 FAX0977-67-1712 <http://brc.or.jp>

製作：回復期リハビリテーション部 広報誌係